

平成 29 年 3 月 1 日

## ＜産科婦人科へ通院中の皆様へ＞

当診療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針（平成 20 年 7 月 31 日改正）」の規定により、対象となる患者さん個人より直接同意を得るものではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「お問い合わせ先」へご照会ください。

### 研究課題名

既往子宮術後（子宮筋腫・腺筋症核出術、帝王切開術、異所性妊娠根治術）妊娠における子宮破裂例の全国調査

### 研究機関

日本産科婦人科学会 周産期委員会

### 研究責任者

周産期委員会委員長 竹田 省

### 研究の目的

子宮破裂は時として妊婦さんやお子さんの命を奪う可能性のある、危険な病態であることが知られています。過去のわが国での調査により、子宮破裂の頻度は論文等で報告されている頻度よりも低いことが判明していますが、本邦では筋腫核出術後の子宮破裂の頻度は高い可能性が示唆されています。さらに、近年の子宮術後の妊婦さんの増加により子宮破裂の報告が散見されているのも事実です。そのため、本調査では子宮破裂の原因や発症時期を調査し、そのリスクを解析して周知することにより今後の子宮手術後妊娠の管理の改善を図ることを目的とします。

### 研究の方法

#### 対象となる患者さん

2011 年 1 月から 2015 年 12 月までの五年間に子宮破裂と診断された患者さん

#### 登録項目

1 次調査として、子宮破裂の総数のみを調査しました。「有り」の施設には個別調査票を郵送し、その既往手術、母児予後などをアンケート形式で調査させていただきます。

### 個人情報の取り扱い

調査により得られたデータを取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮します。研究者が得る情報は年齢、経産回数、症状経過等に限られ、氏名、生年月日等は収集しないため、個人の特特定が可能となるような情報は基本的に入手しません（連結不可能匿名化）。また、研究結果を公表する際には集計結果を示すこととし、個別の症例の経過が明らかになり個人が特定できるような形式はとりません。

### お問い合わせ先

902-8588 沖縄県那覇市与儀1丁目3番1号

沖縄赤十字病院 産婦人科

担当医師：上里 忠和

電話 098-853-3134

F A X 098-853-7811